

▶ 第4回 東京都教育ビジョン（第5次）検討委員会 会議要旨

「東京都教育ビジョン（第5次）」策定に向けて

（1）「東京都教育ビジョン（第5次）」（案）について

- 全体的に非常に分かりやすく明解で、全ての教育関係者の羅針盤にふさわしい内容になっている。
- 指導する側の大人の目線だけではなく、子供たちの声を丁寧に聴き取って計画を作成しているのがよい。
- 新しい時代に合わせた授業改善を学校にしっかりと下ろしていくための取組が非常に重要になる。

（2）普及・啓発に向けた取組について

- 教員や子供が、いつも目にすることができるような状況をつくるとよい。
- 教育は様々な人たちが関わり合っている。本ビジョンは教育関係者のみならず、広く社会に読んでほしい。
- 動画によるダイジェスト版を作成し、ホームページやスマートフォンからアクセスできるようにしたら効果的なのではないか。それを基に、子供と教師や保護者が話し合えるような場が設けられるとよい。
- たとえば、実際に施策が具体化されて実践を積んでいったところで、子供たちの学びの姿や声を紹介を動画等で紹介すると、成果を広く共有できるのではないか。
- たとえば、東京都教育ビジョンを学校経営に生かすための校長研修を実施したらどうか。
- ダイジェスト版もよいが、教育関係者は、教育ビジョン本体に必ず目を通すようにしたい。